

一般質問



吉岡 議員

○深刻化する地域医療の課題と今後の取り組みについて

質 松医会の要望書に対する今後の取り組みについて伺います。

市長 医療機関の新規開業・承継補助事業の創設については、既に制度化されている他市の実態を把握した上で、本市として実施できる効果的な制度設計について検討したいと考えています。松浦中央病院の常勤医師確保については、医師を派遣できる大学の講座開設に対する支援について検討しています。医師、看護師、介護職を地域に誘致するための支援については、市内医療機関における人材の安定的確保を図るため、市内の医療機関に正規職員として就職した場合に、補助金を交付する予算を今議会に計上しています。IC Tインフラを活用したオンライン診療システム、遠隔医療の拡充などの支援については、青島、飛鳥、黒島の3つの離島を視野に入れ、先進地の情報収集や県と連携しての実現を目指しています。

質 青島地区の常勤医師の必要性、募集について伺います。

健康はけん課長 令和2年11月に松浦中央病院が開設され、市内の救急

医療体制の充実が図られたこと、人口減少や患者の減少などを総合的に判断し、常勤医師を置かず、週2回の派遣医師による診療を行うこととしたため、募集はしていません。

○地域防災力の向上に向けた課題と今後の取り組みについて

質 防災アプリの登録者数を伺います。

防災課長 現在の登録者数は、2238人です。

質 防災アプリの整備、保守に要した費用を伺います。

防災課長 整備費用が572万円、保守に係る費用は令和5年度と令和6年度がそれぞれ178万2千円、令和7年度が191万700円です。

質 地域防災力向上のためにも防災アプリの活用は必要と思いますが、周知方法について伺います。

防災課長 周知方法としては、市報へのQRコードの掲載や市ホームページへの掲載のほか、転入手続き、二十歳の式、自主防災組織総会・勉強会・設立促進での地区役員会時および出前講座等において、防災アプリの登録方法などを記載したチラシの配布を行っています。

市長 あらゆる機会を捉えて、アプリの利用促進を図るとともに、高齢者に対しては、スマートフォンへの切り替えと同時に防災アプリを導入するための支援を検討したいと考えています。

質 松浦市の公園の管理運営の現状について

一般質問



村尾 議員

○松浦市の公園の管理運営の現状について

質 公園は子どもの遊び場だけでなく、防災、健康づくり、地域交流など多様な役割を担っています。本市は、公園の管轄が複数に分かれ、それぞれでの管理になっていますが、維持管理運営の一本化は可能か伺います。

市長 管理をするに当たっては、管理の在り方ばかりが当てはまらないので、しっかりとした方針の下、それぞれの遊具、安全点検すべき箇所は同様の方針だと思います。このことから管理の統一化を図りたいと思います。現時点において、遊具管理のみを一つの部署に集めることは考えていません。

質 不老山総合公園が地滑りにより6年間利用できない状況でした。再開園後にまた地滑り等の災害が発生した場合、同じように長期間利用ができないのか伺います。

市長 今回の事象を踏まえ、長期間利用できなかったことは反省しなければいけないと思っています。現在実施中の工事がありますが、さらにこの南側にも不安定な面が残っていることが判明していますので、

同様の災害を繰り返さないための予防工事を、引き続き県に進めていただいています。

加えて、交通の安全を図るために、今回、里から登る入り口と、公園を登った上のところそれぞれゲートを設け、一定雨量が観測された場合は、そのゲートを閉めて危険な箇所には立ち入りできないよう対策を講じています。こういった対策を講じ、公園が長期にわたり利用できないということがないように努めたいと思います。

○松浦市で開催されるイベントについて

質 近年、自治体主導だけではなく、民間主体のイベントが地域振興の手段として注目されていますが、民間のイベントへの行政の支援・協力について伺います。

政策企画課長 市や教育委員会で共催、後援などを行う場合は、市報やホームページなどで、広報や情報発信を行っています。

また、民間イベントに対しての直接的な支援ではないが、民間イベントに出展される各種団体とのつながりから、補助スタッフとして参加しているものはあります。一つの事例として、松浦商工会議所青年部が開催する「まつうらこども博」において、出展される各種団体に関係する各課の職員がボランティアスタッフとして支援を行っています。